

高齢者施設・障害者施設の 感染対策事例集

講習動画 環境整備、換気・空調



東京iCDC専門家ボード
感染制御チーム

東北大学大学院
金光 敬二 先生

環境整備の基本的な考え方

環境整備

施設的环境は清潔でなければならない ⇒ 清掃

日常で使用する物品も清潔に**管理** ⇒ 洗浄・乾燥・保管

必ずしも**消毒**する必要はない

スポルディングの分類

クリティカル

セミクリティカル

ノンクリティカル

悪い例

従来の方法を踏襲している・・・×

施設で取り決めた方法を個人で変える・・・×

換気・空調

空気も環境と同様きれいでなければならない

空調設備を管理していない施設が多い

空調設備にほこり、カビ

換気は、感染対策上も重要

設立後20年経つが・・・

定期的な清掃を

歯ブラシは個別管理を徹底します

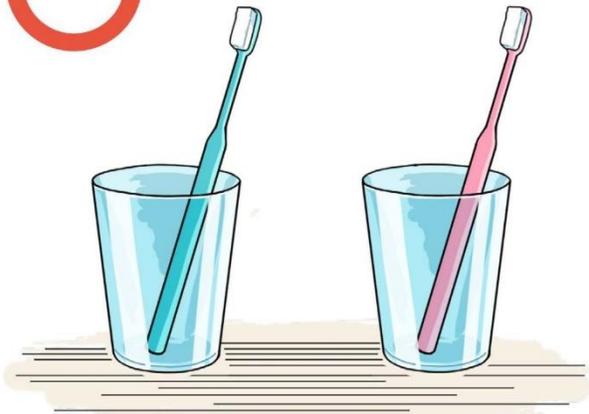
×



× 間違った事例

入所者の歯ブラシを塩素系漂白剤で洗浄し、まとめて保管している。

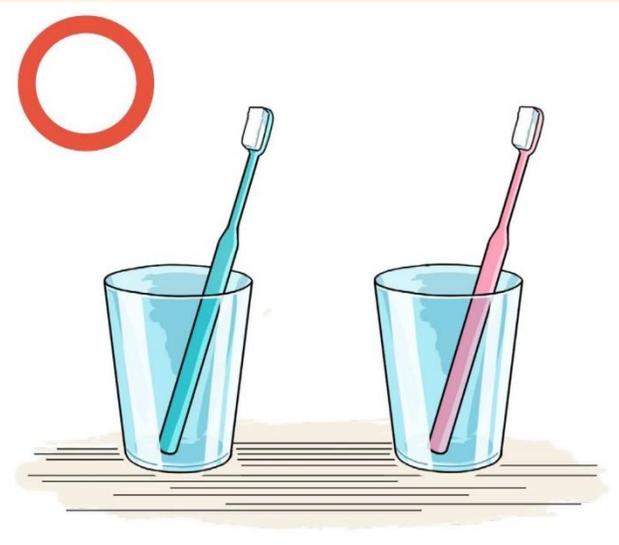
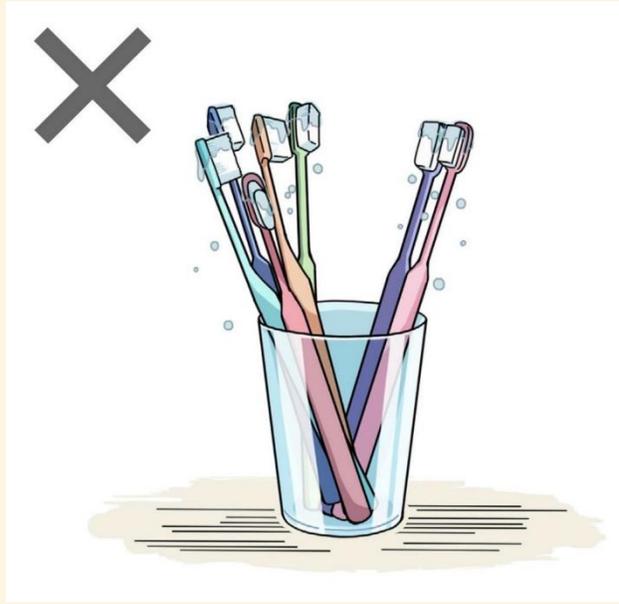
○



○ 正しい事例

歯ブラシは、流水で洗浄し、ブラシを上に向けて、互いに接触しないよう乾かしながら個別に管理している。

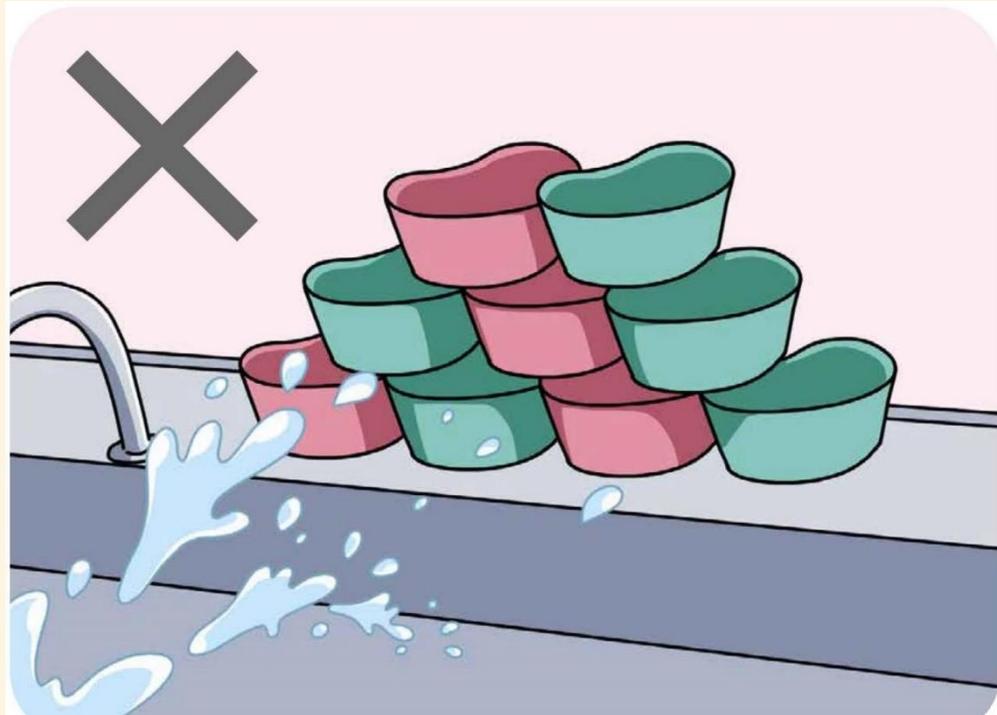
歯ブラシは個別管理を徹底します



解説

歯ブラシは消毒する必要はありません。体液による交差感染が起こる可能性があるため、やむを得ず集合して管理する場合、歯ブラシ同士が触れないよう十分に距離をとりましょう。

ガーグルベースンは水はねしない場所で乾燥させよう



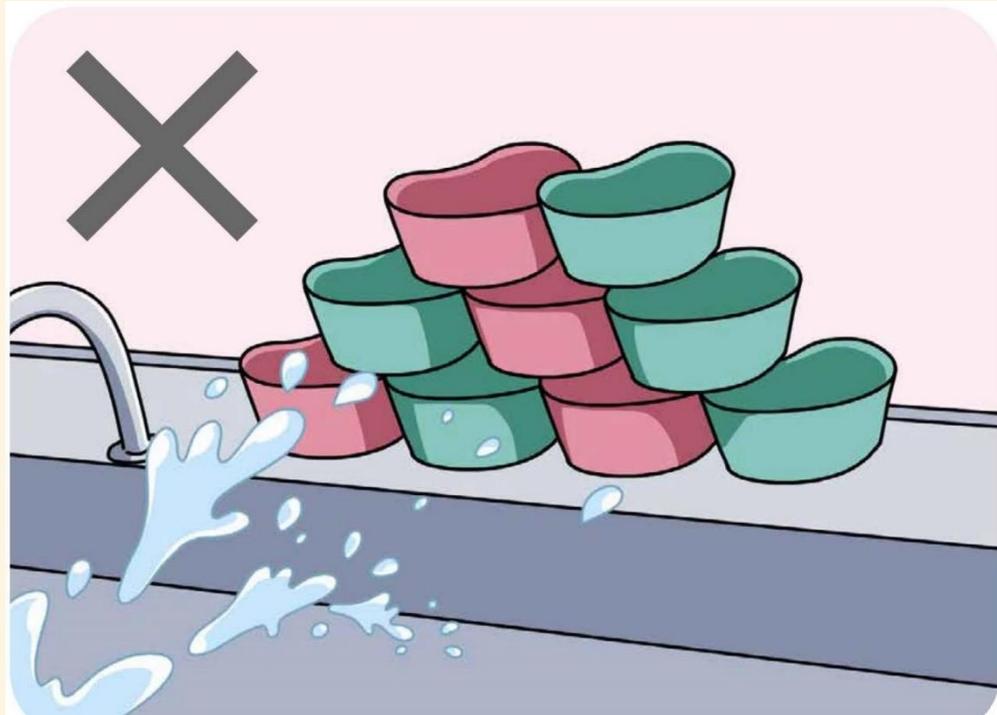
× 間違った事例

洗ったガーグルベースンをシンクの近くにそのまま置いている。

○ 正しい事例

ガーグルベースンを洗浄したら、水はねしない場所に移動させて乾燥させている

ガーグルベースンは水はねしない場所で乾燥させよう



解説

ガーグルベースンは、洗浄してから使用するまで清潔を保たなくてはなりません。せっかく洗浄しても、シンクの近くに置いておくと水はねによりグラム陰性菌等で汚染されることがあります。できるだけ汚染しにくい環境で乾燥させましょう。

口腔ケア用の水は、ケアの直前に蛇口から汲みます



× 間違った事例

準備は早いほうが良いので、口腔ケア用の水もできるだけ早く準備するようにしている。

○ 正しい事例

口腔ケア用の水は、ケアの直前に蛇口から汲んで使用している。

口腔ケア用の水は、ケアの直前に蛇口から汲みます



解説

汲んだ水を長時間放置しておく、細菌が増殖するばかりか、ほこり等が混入しやすくなります。忙しくても、口腔ケア用の水はコップに溜め置きせず、ケアの直前に蛇口から汲みましょう。

加湿器は清潔に保つよう管理しましょう

×



× 間違った事例

加湿器のタンクを洗浄せず、古い水が入ったタンクへ水を継ぎ足している。

○ 正しい事例

定期的に加湿器のタンクを洗浄し、給水している。

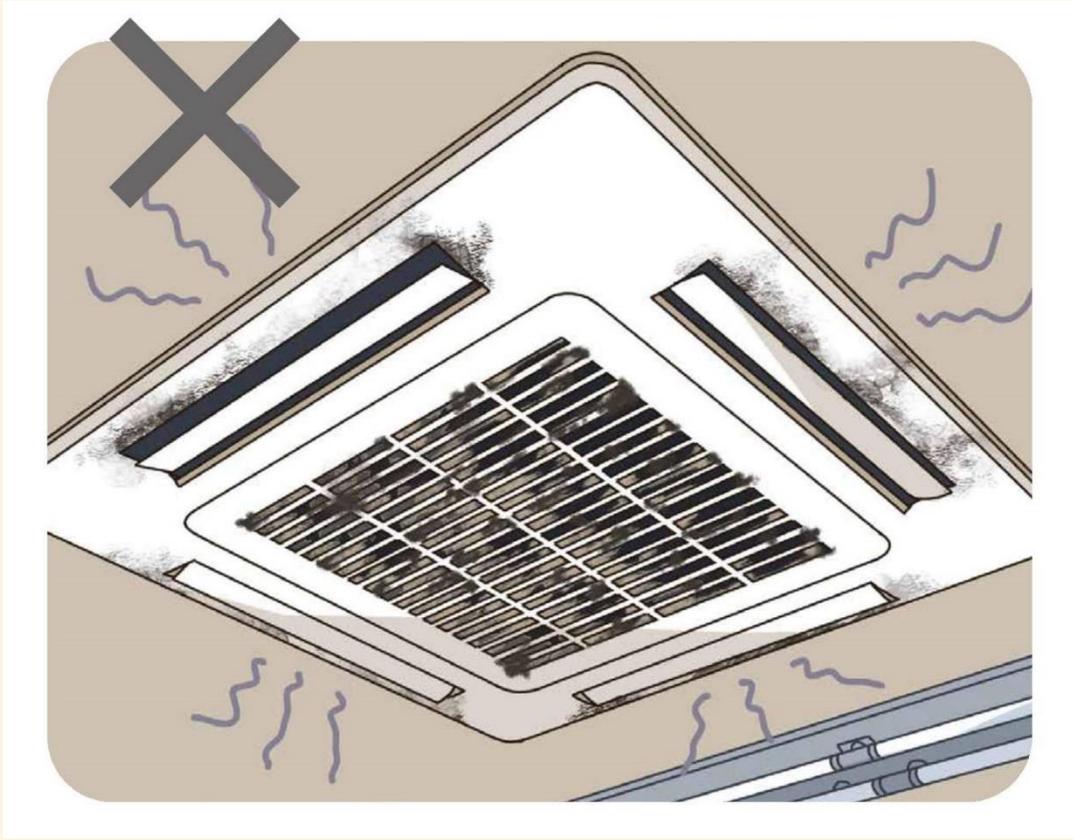
加湿器は清潔に保つよう管理しましょう



解説

加湿器は清掃を徹底します。タンクを適切に洗浄しないまま、水を継ぎ足しながら使用し続けると、細菌の増殖や感染による健康被害を引き起こすリスクがあります。

空調設備は定期的な清掃を行いましょう



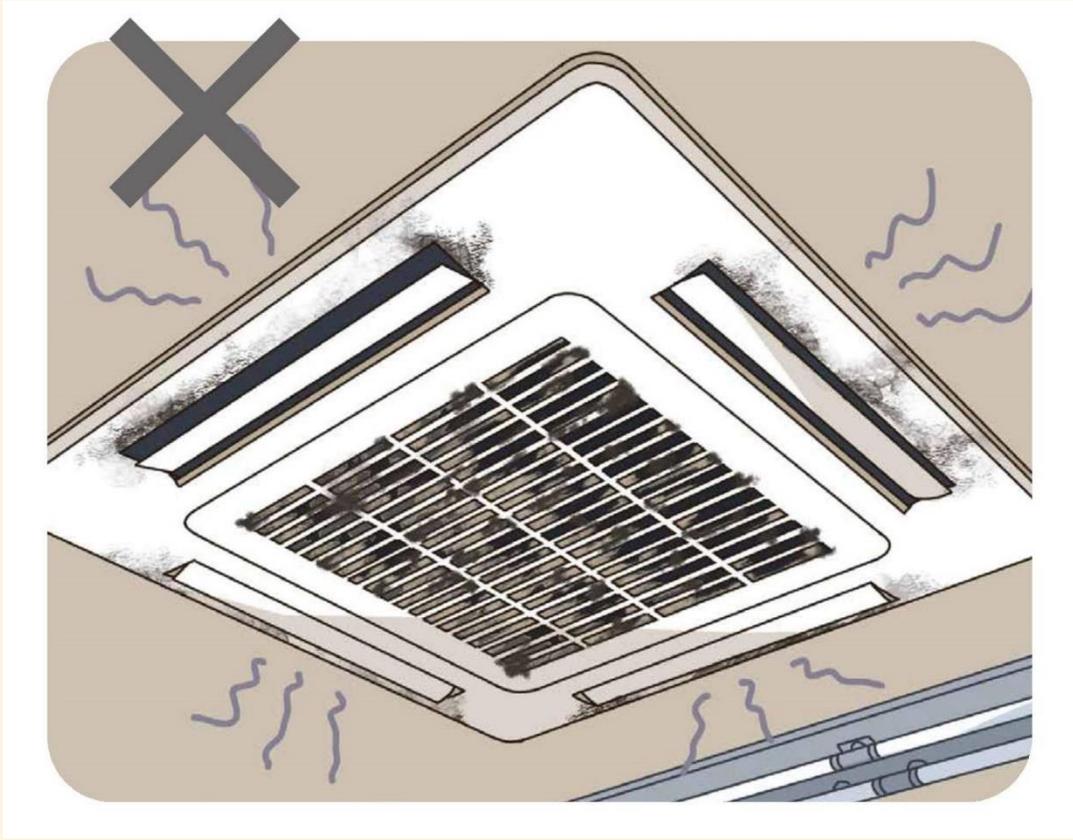
✕ 間違った事例

空調設備が清掃されておらず、ホコリなどで目詰まりをしている。

○ 正しい事例

定期的に空調設備の清掃、メンテナンスを行っている。

空調設備は定期的な清掃を行いましょう



解説

感染症対策の一環として、換気はとても重要です。空調設備が確実に機能するためには、定期的な清掃やメンテナンスが必要であり、「換気の悪い密閉空間」を改善するよう対策しましょう。